

祈りによって神に近づく(パート2)

jw.orgで入手できる「聖書は実際に何を教えていますか」という本の第17章に基づいています。

目的: 自分は何を、なぜ信じているのかじっくり考えてみましょう。聖書は何を教えているのか調べてみましょう。自分の信じていることをどのように説明できるでしょうか。



どのように祈るべきですか

1 自分の信じていることをじっくり考える

ほかの人は何と言うかもしれませんか。

あなたはどう考えていますか。

そう考えるのはなぜですか。

2 聖書は何を教えているのか調べてみる

わたしたちは、神の子であるイエス・キリストを通してエホバ神に祈るべきです。
神のご意志と調和することなら何でも祈ることができます。

(『聖書の教え』の本の第17章9-12節を見てください。)

マタイ 6:9とヨハネ 14:6を読みましょう。

イエスを通し、エホバだけに祈るべきです。その点を聖句はどのように示していますか。

ヨハネ第一 5:14を読みましょう。

「[神]のご意志にしたがって求める」ことのできる内容にはどんなものがありますか。例を挙げてください。(ヒント: マタイ 6:9-13, コロサイ 4:12, ヤコブ 1:5を見てください。)



多くの要人とは違って、エホバ神はご自分と話すために前もって許可を取るよう求めてはおられません。
わたしたちはいつでも神に祈ることができます。

頻繁に、また心から祈るべきです。

(『聖書の教え』の本の第17章13-15節を見てください。)

マタイ 26:41とルカ 18:1を読みましょう。

エホバに祈れる時間の長さや頻度に制限はありません。その点を聖句はどのように示していますか。

歴代第一 16:36とコリント第一 14:16を読みましょう。

祈りの最後に何と言うのはふさわしいことですか。

今週、あなたはどんなことを祈れるでしょうか。

3 自分の信じていることを説明する

だれかにこう言われたら……

イエスや聖人に祈ってもいいんだよ。

こう答えられるかもしれません……

多くの宗教指導者はそう教えているよね。でも僕は違う意見なんだ。どうしてかというと……

どんな聖句を使うことができますか。

相手の見方を考えつつ、その聖句に基づいてどのように説明できると思いますか。

だれかにこう言われたら……

個人的なことを祈るのは間違っているわ。

こう答えられるかもしれません……

誠実にそう感じている人もいるわよね。でも、聖書は個人的なことを祈ってもいいと教えていると思うの。なぜなら……

どんな聖句を使うことができますか。

相手の見方を考えつつ、その聖句に基づいてどのように説明できると思いますか。
